

# PRESS RELEASE

2002.6.20

「リオ + 10」NGO シンポジウム実行委員会

## ヨハネスブルグ・サミット直前 NGO シンポジウム「地球サミット 10 年の危機」 を開催します

8月26日より南アフリカのヨハネスブルグで「持続可能な開発に関する世界首脳会議」が開催されます。しかし、6月にバリで開催された準備会合では、多くの重要な課題について合意できないままとなっています。

環境問題の深刻化と南北問題の激化という実態を前に、世界各国は、南北に立ちはだかる問題を直視し、現在の持続可能ではない諸々の活動を改め、今後の具体的な対応と行動を約束しなければなりません。しかし、今成すべきこととサミットに向けた議論との間には既に大きな乖離があり、NGOは危機感を強めています。

このシンポジウムは、サミットに関連する個々の課題の解決にこれまで取り組んできたNGOが結集し、NGOの立場から、地球サミットから10年の取り組みと実態、問題点を検証し、今後の改善点、対策について具体的な展望を示し、提言しようとするものです。また後半のパネルディスカッションでは、NGOの主要メンバーをパネリストに、持続可能な社会を実現するための日本の役割について議論する予定です。

シンポジウムを通じて、サミットに関連する貧困や環境の問題に対して多くの市民が関心を高め、今後について考え、行動するきっかけになることを期待するとともに、政府や企業が適切な対応を取っていくことを求めたいと考えています。

**事前のイベント告知、当日の取材等、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。**

主催：「リオ + 10」NGO シンポジウム実行委員会

(同実行委員会は、シンポジウムを担う、複数のNGOのメンバーで構成されています。)

【世話人】古沢広祐（「環境・持続社会」研究センター(JACSES)事務局長）・浅岡美恵（気候ネットワーク代表）・田中 優（日本国際ボランティアセンター(JVC)理事、元・市民フォーラム 2001 共同代表）

お問い合わせ：「リオ + 10」NGO シンポジウム実行委員会 事務局

気候ネットワーク東京事務所 TEL:03-3263-9210, FAX:03-3263-9463 又は

「環境・持続社会」研究センター TEL:03-3447-9515, FAX:03-3447-9383